

1. 所長による分析（業務運営の総括）

（1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

主要指標を意識した取組を展開した。就職件数、充足件数、早期再就職割合については、常に各部門に対して以下の取組を重点的に実施するよう指示し、目標達成のための意識付けを強化。

○就職件数を意識した紹介件数の目安の設定
就職件数の目標を意識しつつ、紹介件数を上げることを目標として各部門へ指示している。指示にあたっては全体の数値だけではなく、窓口職員一人ひとりが意識しやすいように一人あたりの紹介件数の目安についても細かく指示した。

○マイページの登録促進とマイページを活用した情報提供
当所のマイページへの取組は特に付属施設においては高い数値で推移した。これは昨年度からマイページへの登録数を今後の支援の中心に据えることを伝達し、年齢層の区別なく全ての求職者に対してご案内し、窓口においてログインまで完結するよう指示した結果である。マイページの登録がなされた後はマイページによる情報提供を実施し、オンライン紹介等に繋がられるようその活用についても検討を進めた。なお、職業訓練窓口においては訓練受講を希望する者に対しては必ずマイページを登録するよう取り組んでいる。

○オンライン紹介の促進
相談後に応募を検討している求職者に対しては、求職者の求人への応募を促すため、応募前職場見学を推奨し、その後スムーズに応募していただくために、オンライン紹介を必ずご案内するよう指示している。

○求人者との接触機会の増大
所内企業説明会等で来所された求人者との面談を常時実施。求人者ニーズの把握や求人内容の改善、条件緩和指導などを適宜実施している。面談によりマイページによる求人提出が定着し、希薄になっていた求人者との関係性が好転していると感じており、求人者からのニーズや要望にスピーディーに応答できるようになっている。

○求人者と求職者との出会いの場の創出
求人者から直接仕事内容や職場環境等を説明していただくことで、応募までのハードルを下げ、職場前見学や紹介に繋がられるよう取り組んでいる。参加者については一定の成果を得られており、求人者からも好評を得ているが、企業説明会後にその企業に応募するか否かのフォローまでが必要であると認識しており、課題となっている。

（2）前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

1. 将来のハローワーク像の検討
利用者の減少については深刻な課題と受け止めている。そのような中にあるのは従来型のサービスではニーズに対応したものとはなっていない可能性もあり、今後の対応方針を柔軟に検討していく必要がある。当所においては若手中心のサービス検討チームを発足させ、予算や実施可能性に拘らずまずは幅広く意見出しを行い、将来に向かってハローワークのあるべき姿を検証し、実現可能な改善点を見いだすこととした。なお、検討にあたっては、オンライン等を活用した情報提供や充足支援サービスの再構築も念頭に検討を進めていく予定。新システム導入後の導線についても引き続き検討を進めていく。

○オンラインの活用
オンライン相談及びオンラインセミナー等オンラインを活用した支援を実施する体制を整え、オンライン相談のニーズの把握、オンライン相談、オンライン紹介ができることを積極的にアピールしていく。一定ニーズがあると思われるオンライン紹介については常時求職者への案内を行い、積極的に取り入れる。

○適切な周知広報
引き続き必要な情報をHPに集約させることを念頭に、HP掲載内容の見直しと集約を行うことでHPを活用した周知広報の充実を図り、潜在求職者への利用促進につなげていく。

2. 求職者に対する更なる支援強化
担当者制を拡充し、支援体制を強化していく。現在のハローワークに対する求職者ニーズは求人を選択することではなく求人情報の収集だと思われるため、まずは情報提供を強化し、その情報により求職者自らが求人を選択するという流れでハローワークを利用してもらう必要がある。その先の支援として、必要に応じてjob tag等のツールを活用したきめ細やかな支援を担当者制により実施することとする。

3. 人材不足分野も含めたマッチング向上
人材マッチングコーナーを活用した求人者側への支援の強化を念頭に、求人者側への求人内容や事業所情報を的確に把握していくと同時に、来所している雇用保険受給者や一般求職者へ向けてよりアピール度の高いマッチングを進めていくこととしている。雇用保険課と連携し、常時求人者が雇用保険受給者等へアピールし、業務内容等を説明できる場を設けていく。また、求職情報公開への取組も強化することによって求人者が求める人材を的確に紹介していくことも必要である。

4. 求人充足及び求人確保に向けた取組強化
求人充足についてはまずは迅速な求人受理及び公開が必要との認識。求人者のニーズとしては求人提出後の早期公開であるため、受理後1～2日で公開が行えるよう人員を確保し、公開までの流れを見直す作業を実施。その上で、充足検討会議をリニューアルし、充足検討会議と事業所訪問を組み合わせ、効率的に充足支援を実施できるよう体制を整えていく。なお、事業所訪問時においては企業のニーズを常に把握し、人材確保への要望等を的確に把握することで、充足支援も見据えた求人の確保も並行して行っていく。

5. 雇用保険受給者に対する支援強化
当所においては雇用保険受給者をいかに紹介窓口へ誘導するかが課題となっている。従来から資格決定後に雇用保険説明会を実施してきたが、会場が確保できない等により実施が通年でできていない状況であるため、紹介や担当者制、訓練受講への誘導ができるような説明の場を検討している。また、上記3にあるように給付課での待ち時間を利用したマッチング機会を増加させる必要があるため、求職者への情報提供の一環として取り組んでいる。

（3）その他の業務運営についての分析等

○求人数の減少は当所においても課題となっている（令和7年度の新規求人数の累計は、前年比で6.2ポイント減少。年度後半にかけては電話による求人提出（更新）の働きかけもあり多少持ち直した）。

令和7年11月の最低賃金改訂の影響を企業としても見定めている傾向もあり、しばらくは様子見の状況であると分析しているが、物価高、人件費の上昇により求人件数が徐々に減少しているようにも感じる。また、ハローワーク以外の媒体へのシフトチェンジもあり減少に拍車がかかっていると思われる。

○求人充足支援についてはこれまで通り重点的に実施していくが、併せて求人数を増やしていくための方策も必要となってきた。中規模以上の事業所に対しては大量求人が見込めるため、提出がない事業者に対しては積極的に求人提出をアピールすると同時に小規模事業所に対しては喪失時の雇入れ情報などにより求人提出への依頼をこれまで以上に強化していく必要があると感じている。なお、前述のとおり、マイページ導入により希薄になっていた求人者との関わりは、当所が本年度から導入している所内企業説明会により一定解消しつつある。

○一方で、求人数を増加させるためには、人材不足分野を中心に紹介件数を増やしたり、スピード感のある紹介や能力やスキルの高い求職者をあっせんしたりとハローワークがこれまで比較的苦戦してきた支援に対して重点的に取り組むことが必要だと感じている。①②に記述した支援を体系的に繋げた取組や施設を十分に活用した支援を実施していくことが重要だと分析している。

(4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

1. 求職情報公開についての更なる取組（具体的に内容を拡充し、求人者、求職者双方にメリットがあるものへ）→令和8年度の取組として準備中
2. オンラインによる情報提供の更なる促進（情報提供の量を意識。提供方法の定型化について検討課題）→来所者への積極的声かけからアプローチ後の情報提供
3. オンライン紹介の促進（来所しなくとも紹介に至る流れを作る）→情報提供のみで終わらず、提供した求人への応募勧奨を電話等で積極的に行う
→助成金案内や確認に係る簡素化又は手続きの簡略化は課題
4. 企業説明会等により企業と求職者の出会いの場を創出し、その後の積極的あっせん→出会い後のフォローアップを重視。職場見学、紹介につなげる取組を確実に実施
(応募前職場見学に可能な限り誘導しミスマッチも防ぐ)

2. 特記事項

物価高、人件費の上昇による求人件数の減少
ハローワーク以外の媒体へのシフトチェンジが加速

3. 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4. マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者 早期再就 職割合	満足度 （求人 者）	満足度 （求職 者）	⑧人材不 足分野の 就職件数	②障害者 の就職件 数	③新卒者 等支援に 係る就職 支援ナビ ゲーター の担当者 制による 就職支援 を受けた 者の正社 員就職率	⑥公的職 業訓練修 了3か月 後の就職 率	⑦マザー ズハロー ワーク事 業におけ る担当者 制による 就職支援 を受けた 重点支援 対象者の 就職率	⑨生涯現 役支援窓 口での65 歳以上の 就職率		
令和7年度目標	7,837	9,224	38.2%	81.0%	93.0%	2,783	780	62.2%	73.2%	97.0%	87.0%		
令和7年度実績	7,470	8,675	31.9%	85.0%	83.8%	2,615	778	83.6%	69.2%	98.7%	88.3%		
目標達成率	95%	94%	83%			93%	99%	134%	94%	101%	101%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率
※就職件数は「（従来の）紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「（従来の）紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。